福山市立日吉台小学校　第４学年　学年通信

チャレンジ！！

2024 年(令和６年)２月２０日
No.２１

音楽科　感想の学習より

音楽の時間に，日本の音楽と，ペールギュント作曲「山の魔王の宮殿にて」の鑑賞の学習をしました。分かったことや感じたことをまとめたので，紹介します。

【日本の音楽】琴，三味線，三線の音色や，曲の特徴を感じ取りながら聴きました。

私が好きな曲は，琴独奏による主題と６つの変奏「さくら」です。
この曲は，琴で演奏されています。変奏曲になっているのが特徴です。
私が好きなところは，「第６変奏」です。「第６変奏」は細かい旋律で速いので，さくらが満開になる感じがします。
最初が遅く，最後に速くなるところがすごくいいなと思いました。

市川　紗衣

僕が好きな曲は，「津軽じょんがら節」です。
この曲は，三味線で演奏されます。３つの糸しかないのに，高さをいろいろ変えていくところが特徴です。
演奏する時は，ばちを使い，３つの糸を弾きます。そして，左手を上下に動かして高い音や低い音を出します。音色は琴の音に似ていて，迫力があります。速さは速めです。
この曲は，なつかしい音を奏でています。祭りなどの行事で演奏してもよさそうな音です。

松井　碧

僕が好きな曲は「てぃんさぐぬ花」です。
この曲は，三線で演奏されています。歌があり，速さは途中で変わらず，他の楽器と同じで左手を使っているところが特徴です。
この曲を聴くと，落ち着く感じがします。
僕は，沖縄におじいちゃんとおばあちゃんに会いに行くことがあって，その時に聴いたことがあります。
他にも，沖縄には「てぃんさぐぬ花」のような曲があるので，みなさんも聴いてみてください。

中野　北斗

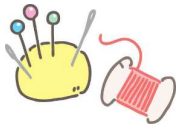
【山の魔王の宮殿にて】音楽の特徴をもとに，音楽が表している様子を想像しながら聴きました。

「山の魔王の宮殿にて」は，「ペール・ギュント」という劇のために作られました。「ペール・ギュント」の主人公のペールが，魔王の宮殿に行った場面の曲です。
はじめは，音が小さく遅いです。だから僕は，宮殿に入ったばかりで静かだったと考えました。それから，だんだん音が大きくなるので，物音が増えたと考えました。最後は，すごく音が大きくなり速くなるので，化け物が出てきたと考えました。
この曲は，人によって感じ方や考え方が違うので，感想を言い合ってみるとすごく面白かったです。

岩本　琉玖

「山の魔王の宮殿にて」は，「ペール・ギュント」という劇のために作られました。ペールが魔王の宮殿に入った場面です。
はじめは，ゆっくりなので宮殿に入っている様子だと思いました。それから，音がだんだん大きく，速くなったので，走っている様子だと思いました。最後は速く強い音が続いたので，ペールがおそわれていると思いました。
私はこの曲を聴いて，こわいけど，たくさんのことを想像できるからいいなと思いました。

齊木　絢子



裁縫道具の購入について

５年生の家庭科の学習で裁縫道具を使用します。

学校での注文をご希望の場合は，本日配付している封筒に，代金を入れて提出してください。２種類の注文用紙を配付していますが，ご希望の封筒のみをご使用ください。

提出締め切りは，２月２９日（木）です。よろしくお願いします。